

「映像による避難所開設マニュアル」

製作の背景と意図

I. 蓮田市の現状

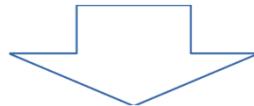


最近の自然災害の状況

日本各地どこでも、これまでに経験していない災害が起きる状況

蓮田市はこれまで災害がなく、これからも起きない？

この『正常性バイアス』に基づく準備や行動は、都合の悪い情報を過小評価するため、避難の遅れや被害の拡大を招来することが危惧されます



避難所の開設に役立つマニュアルがない

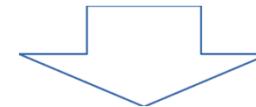
災害時に避難所開設が発令された後も、誰が避難所開設を行うかについては、明確なマニュアルもなく、実際には開設まで時間がかかり、命の危険性にも及ぶ状況にもなりかけない事態が予想されます

2. 避難所開設は、誰が行うか？



避難所の開設

地域住民や、避難された「避難者」が自主的に行う事を明確にすることが必要



映像による、避難所開設マニュアルの作成

その開設・運営の進め方や役割分担、順序、注意点を実践的かつ分かり易く映像で説明することを意図し、

二次元コードを通して「開設マニュアル」を読み取り、誰でも・いつでも見られるスマートフォン時代に即した新しい仕組みを採用しました



3. 新しい避難所開設・運営の仕組みと取り組み



新しく、取り入れた工夫

- (1) 役割ごとに「チャプター動画」を製作し、役割分担や、やり方を分かりやすくしました
- (2) 総合案内の設置と協力者の募集を取り入れました
- (3) ブルーシートを使った、新しい簡便な区割り方法を採用しました
- (4) これからの人間的な避難所生活を考えたプライベートテント、エアーベット、仮設トイレ、携帯トイレの試験的な推奨を組み込みました

これらの事項を、新たな提案として組み込みました

本事業が、実践的な避難所開設・運営に活用され、今後の新たな企画や考察の素材となれば幸いです